

事業評価調書

◎基本情報

年度	2010	会計コード	10	一般会計	事業コード	23220
事業名	雪まつり大通会場雪像制作費					
評価担当課	所属コード	観光文化局観光コンベンション部観光企画課				
	担当者名	阿部		電話番号	211-2376	
政策名						
施策名	主	観光魅力づくりの推進				
	副					
事業の性質	○ 経常経費 [○ 内部管理 ○ 内部管理以外] ● 臨時的経費					
事業内容	目的と内容	<p>さっぽろ雪まつり大通会場5・10丁目において、市職員及び市民ボランティアが主体となり2基の大雪像を制作している。制作に当たっては、20年度より、市職員及び市民ボランティアに対する制作指導業務を雪像制作技術を有するNPO法人「北海道の地域文化を守る会」へ業務委託を行い、市民への制作技術の伝承に努めている。</p> <p>また、この大雪像制作に必要な採雪を行うとともに、会期終了後、大通公園に運び込んだ雪の排雪、清掃及び傷んだ既設物、芝生等の補修を行う。</p>				
	主たる受益者	来札観光客、市民				
事業の必要性	<p>大雪像は雪まつりの象徴であり、魅力を維持していくためには基数を維持する必要がある。そのためには本市内部、更には市民レベルまでに裾野を広げ大雪像制作を行わなければならない。平成20年度からは、大雪像制作技術を有する市民活動団体を核に据え、市民への技術伝承の普及に努めている。また、雪像制作には短期間に大量かつ不純物が混じっていない純白な雪が必要であるため、郊外で雪を採り、大通会場まで輸送しなければならない。昨今、温暖化の影響で近郊の積雪量が減り、遠方への出勤が多くなっている。本市の重要な観光資源である「さっぽろ雪まつり」を将来にわたって維持し支えていくために、全市的な支援及び協力体制が必要である。なお、雪まつり終了後、大通公園の使用に支障をきたさないよう、原状を回復する義務があるため、傷んだ芝生及び既設物の補修が必要となる。</p>					
実施期間	○ 単年度 ● 単年度継続 ○ 複数年継続		開始	年度	終了	年度
実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					
関連法令						
他都市の状況						
関係HP	http://www.snowfes.com/ http://sapporo.100miles.jp/snowfes/					
関連計画	新まちづくり計画	○ 対象 ● 対象外			計画コード	
	政策目標					
	重点課題					
	施策					
	基本事業					
その他関連計画						
環境保全事業	○ 対象 ● 対象外		目的			
	目標					
	指標					監視測定結果
環境負荷事業	○ 対象 ● 対象外		目的			
	目標					
	指標					監視測定結果

◎事業費

		20年度決算	21年度決算	22年度予算	22年度決算	23年度予算
事業費(A)		29,637	45,664	52,557	63,321	52,470
特定財源	国・道	0	4,623	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	15	0	0	0
一般財源		29,637	41,026	52,557	63,321	52,470
人工		3.2	2.9	2.9	2.4	2.4
人件費(B)		25,600	22,910	22,330	18,480	18,240
計(A+B)		55,237	68,574	74,887	81,801	70,710

事業費の 執行内容	第1種非常勤職員報酬1,027千円、大雪像制作ボランティア用記念品等83千円、防寒ゴム手袋購入42千円、ウイズユーカード購入130千円、大雪像制作用備品般出入費90千円、防寒着クリーニング費241千円、大雪像制作警備費315千円、ボランティア保険料46千円、大雪像制作及びボランティア指導業務25,221千円、10丁目足場組替業務1,575千円、採雪業務8,610千円、排雪業務3,045千円、5丁目足場設営等業務7,980千円、大通会場清掃等原状回復業務2,527千円、雪まつり警備業務12,390千円
--------------	--

◎指標

指標1	指標名	さっぽろ雪まつり観客数				
	設定理由	さっぽろ雪まつりの観客数の増加を図る。				
	目標・実績	19年度実績 2,159,000人	20年度実績 2,080,000人	21年度実績 2,433,000人	22年度目標 2,200,000人	22年度実績 2,416,000人
指標2	指標名	さっぽろ雪まつりの満足度				
	設定理由	来客に対する満足度調査の満足度向上を図る。				
	目標・実績	19年度実績 88.4%	20年度実績 87.1%	21年度実績	22年度目標 70.0%	22年度実績 74.1%
指標3	指標名					
	設定理由					
	目標・実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績
指標4	指標名					
	設定理由					
	目標・実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績
指標5	指標名					
	設定理由					
	目標・実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績
補足説明						

【事業担当部局】

市民自治の観点からの評価		20年度より、市民の手による雪像制作を促進することを目的とし、雪像制作経験及び雪まつりにかかる業務経験が豊富な市民によって新たに設立されたNPO北海道の地域文化を守る会へ、大雪像制作及びボランティア指導等業務の外部委託を行っている。また、引き続き雪像制作参加する市民ボランティアを募集し、市民参加に努めている。	
妥当性・必要性の検証	経常的経費	成果の視点での検証	
		コストや効率性の視点での検証	
		事業の影響縮小	
	臨時的経費	実施によるプラスの効果	大雪像制作を通して雪まつりへの市民参加の促進を図っている。 また、雪まつりの最大の魅力である大雪像の基数を確保することにより、観光資源としての魅力を維持している。
事業を行わなかった場合のマイナスの影響		雪まつりの魅力ダウン、市民参加の後退。	
課題		将来を見越した大雪像制作の担い手(大雪像制作技術伝承団体)の育成。	
今後の方向	内容	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 ○ その他 現状を維持し、大雪像制作の担い手のより良い育成方法について検討を重ねる。	
		歳出見通し	● 増加 ○ 増減なし ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他 大雪像制作および雪像制作に必要な雪の採雪等については、その年の気象条件に大きく左右されることから、見通しが立たない。しかし、近年の雪不足、気温の上昇により増加することが予想される。
備考			

【2次評価】

--

【外部評価】

--

【改善・見直しの検討結果】

--